

## 一緒に楽しく過ごしませんか？

### ～在宅障害者いきいき活動支援事業～

白山市社会福祉協議会では在宅の障害者が創作的活動、軽運動等を行うことにより、障害者の自立と健康増進、生きがいを高めることを目的として実施しています。興味のある教室・サークルがありましたらお気軽にお問い合わせください。

#### 【令和3年度の主な活動内容】

- 陶芸 ●パッチワーク ●俳句 ●グラウンドゴルフ
- 手芸 ●文化・教養講座（ガラス細工等） ●スカットボール・ボッチャ等

※活動内容は例年同じですが、一部変更して行う教室もあります。



グラウンドゴルフ



パッチワーク



ガラス細工



手芸



ボッチャ



皆様のご参加をお待ちしております！

申込み・問い合わせ先：白山市社会福祉協議会 TEL 276-3151 FAX 276-4535

今年度も地域福祉へのご支援よろしくお願いします。

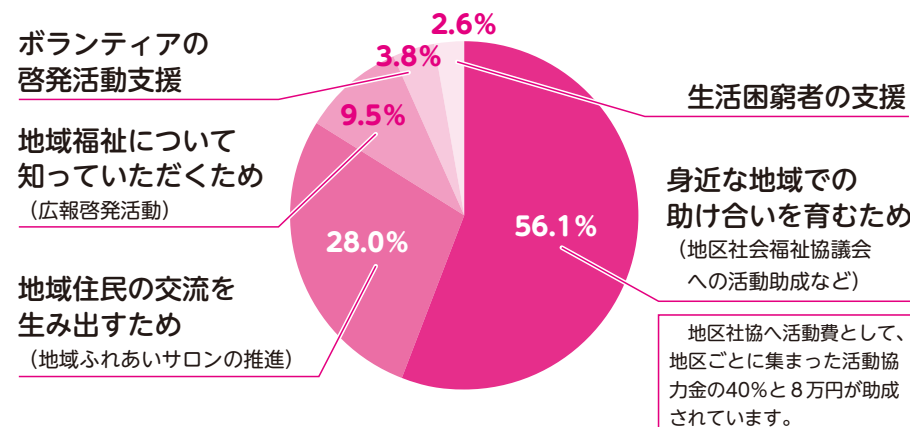
## 白山市社会福祉協議会 活動協力金のお願い

白山市社会福祉協議会は地域福祉を推進している社会福祉法人です。地域福祉活動のため、様々な取り組みを行っています。皆様から頂戴する社協活動協力金がその大切な財源となっています。今年度も皆様のご協力をよろしくお願いします。

| 区分   | 金額            | 対象                                   |
|------|---------------|--------------------------------------|
| 普通会員 | 500円／世帯       | 白山市内の世帯<br>(各町内会長様に取りまとめをお願いしております。) |
| 賛助会員 | 10,000円／法人・団体 | 白山市内の企業・法人・団体等                       |

「会員」とは活動協力金を納入いただいた方のことです。

### 《活動協力金はこうに使わせていただきます。》



### 白山市共同募金委員会からのお知らせ

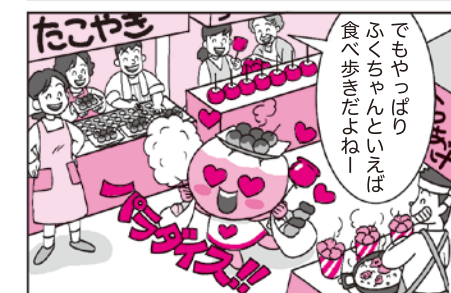
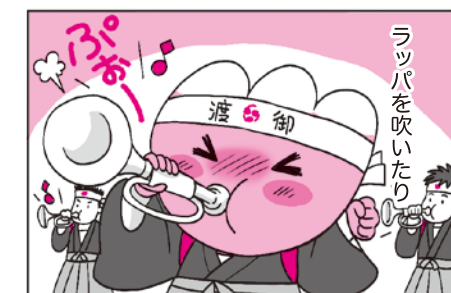
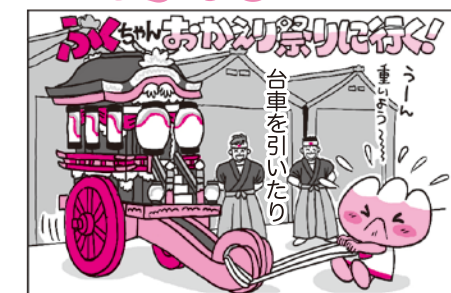
令和3年度赤い羽根 白山ろくあったか募金は1月1日～3月31日の期間、募金活動を行いました。多くのご支援、本当にありがとうございました。

お寄せいただいた募金は白山市共同募金委員会を通じて、全額下記の団体に助成させていただきます。

| 団体名        | 事業名                              | 募金実績    |
|------------|----------------------------------|---------|
| 白山市社会福祉協議会 | 新たな里山暮らしの提案・体験事業～里山・スマイルライフ体験事業～ | 94,776円 |

#### 寄付していただいた企業・団体（敬称略）

【松任地域】EIZO株式会社 【美川地域】株式会社石村電気商会  
【吉野谷地域】みのり建設株式会社 【尾口地域】サンロクカップ



ご寄付  
ありがとうございました

(R4.1/1～3/31 受付分)

- 英吉
- 末広町東婦人部



(敬称略・50音順)



次号は8月に発行予定です

ふくちゃん

白山市社会福祉協議会  
マスコットキャラクター

連載コラム 第19回  
地域でふくし

白山市社会福祉協議会は地域の課題を地域のみなさんと一緒に考え、解決に向かう活動を推進しています。



このコラムでは、みなさんが実際に行っている活動を紹介し、活動されるみなさんの課題解決などのヒントにしていきたいと考えています。

## 河内地区社会福祉協議会 卒業シネマツアー

～公共交通機関を利用してみよう～

今回は、河内地区社協の事業「卒業シネマツアー」を紹介します。

河内地区は公共交通機関が少なく、車での移動が多いため、公共交通機関をあまり利用したことがない児童のために、小学校を卒業した児童を対象とした卒業シネマツアーを毎年行っています。今年度は4名が参加し、公共交通機関を乗り継ぎ、映画鑑賞や図書館の見学をしました。

電車で移動（鶴来駅）



ワクワク  
ドキドキ

楽しい♪



学びの杜のいちカレードを見学

わー！キレイ！  
本がいっぱい！

移動が大変だったけど  
楽しかった！

案内をしてもらいながら  
施設を見学  
(30分)



映画おもしろかった。  
感動した！

イオンモール白山で映画鑑賞

## 地域のこども食堂を紹介します！

～子どもの居場所づくり～を作成しました。

新型コロナウイルス感染症の対策や様々な工夫をしながら、子どもが安心して食にふれ、地域の方と交流できる「こども食堂」の紹介や参加者から寄せられたメッセージなどを紹介しています！（A5版16ページ）

社会福祉協議会ホームページからもダウンロードできますので、ご覧ください。



我が事

丸ごと

# 「地域共生社会」 実践フォーラム開催！！

令和4年3月9日（水）、『孤立・孤独を生まない地域づくりを目指して』と題し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoomミーティングを使用したオンライン形式で実施しました。

地区社会福祉協議会や民生委員児童委員、福祉協力員をはじめ、地域包括支援センター、障害者相談支援センター、子育て世代包括支援センターなどから60名の方が参加し、孤立・孤独の問題に今後必要な取組みや地域づくりについて考えました。

また、当日に参加ができなかった方にも見てもらえるように、DVDを作成し、地区社協に配布しました。

## 第1部 基調講演

講師 馬渡 徳子 氏（金沢大学人間社会学域 非常勤講師）

演題 「地域で、ともに生きるということ  
ー新型コロナウイルスが問うた  
私たち世代への『宿題』ー」

「地域でともに生きるという事」は、人生の途上で支えたり支えられたりの体験の連続であり、みんなが地域共生社会の対象として担っています。そのための必要な事として、下記の4つのポイントについてご講演いただきました。



- ① 我がこととして考えてみる。当事者の現在（いま）ある状況に思いを馳せる。
- ② 当事者の自己決定を大事にする。
- ③ 抱え込まず秘密を保持できる機関や支援者につなげ、ともに考え行動しともに振り返りつなぎつくる。
- ④ 対人援助職に就くものとして専門性と謙虚さを持ち、自身にある「ものの見方・考え方の傾向」を知る。

## 第2部 パネルディスカッション

テーマ 『孤立・孤独を生まない地域づくり』



福田 正成 氏  
（白山市地域包括支援センター大門園）

「コロナに負けるな」と題した冊子を作成し、お配りする際に孤立孤独も含めた実態把握を行い、リモートでサロン同士の交流を図っています。



太田 泰子 氏  
（白山市立乳児保育所）

子ども同士のつながり、母親同士のつながり、様々な人

とのつながりを結ぶのが支援センターとしての架け橋づくり、役割であると思っています。



梨木 通子 氏  
（蝶屋地区社会福祉協議会）

地区社協で見守り準備会を作り、住民が主体となり

住民の生活実態を把握する取り組み活動をしています。



コメンテーター  
馬渡 徳子 氏  
（金沢大学人間社会学域）



コーディネーター  
西田 真人  
（白山市社会福祉協議会）



藤原 敦子 氏  
（白山市役所）

問題が多岐にわたり複雑化している家族の場合は福祉総合調整室が調整を行い、関係機関が一つのチームとして協力しながら支援をしています。